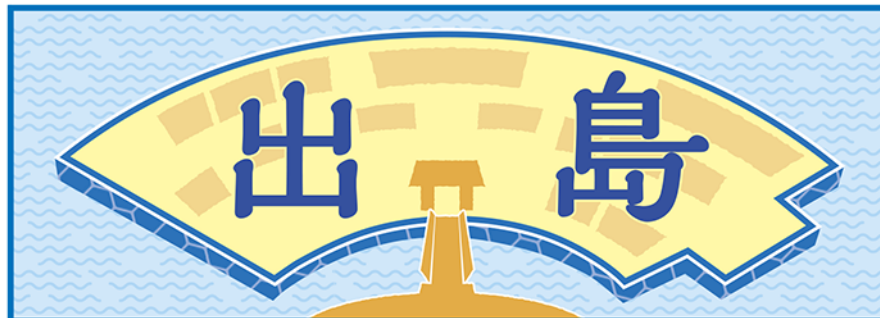




第106号

2021.10 発行

放送大学
長崎学習センター

〒852-8521 長崎市文教町1番14号
長崎大学文教キャンパス内
TEL(095)813-1317 FAX(095)813-1325

もくじ

・ 巻頭言	… 1～2	・ 出島の窓から	… 9
・ ご挨拶・客員教授一覧	… 3～4	・ サークル等紹介	… 10
・ 学位記授与式・特別表彰	… 5	・ 事務室からのお知らせ	… 11
・ 卒業生謝辞・卒業生のメッセージ	… 6～8	・ キャンパススケジュール	… 12

9月1日付 人事異動のお知らせ

☆ 伊東 昌子 所長が長崎大学理事就任のため退任し、後任に、山下 敬彦 所長が就任されています。

☆ 花田 裕子 客員教授が退任され、宮原 春美 先生が客員教授に就任されています。

巻頭言 — 就任のごあいさつ —

長崎学習センター所長 山下 敬彦

はじめまして。

この度、放送大学長崎学習センター所長に就任しました山下敬彦と申します。
伊東昌子所長の後任として着任いたしました。よろしくお願いいたします。

さて、私は長崎大学に約36年半勤務し、定年まであと約1年半というところで放送大学へ転職することとなりました。伊東所長が任期途中で転出される
とのことで、急遽私が後任を引き受けることになった次第です。



私の経歴の詳細は <https://researchmap.jp/> で検索していただくとご覧になれますが、簡単に紹介いたします。私は1985年に九州大学大学院総合理工学研究科博士課程を修了と同時に工学博士を取得し、長崎大学に着任しました。私の専門は電気電子工学の中でもいわゆる強電と呼ばれる分野です。電力伝送・利用のための設備・機器が対象で、特に高い電圧を使用するため、放電現象・絶縁設計などを研究対象としてきました。大学院では、そのころ計画が持ち上がって

いた1000 kV 送電線（UHV送電線）に関連した研究を実施していました。当時、電力需要は増加を続け、いずれ送電容量の不足が生じると考えられ、その対策としてUHV送電線が計画されたわけですが、その後需要は伸び悩み、UHV送電線の一部は建設されましたが、1000 kVでの運用はまだなされていません。

長崎大学に着任してからは、研究室の教授とともに主に外部絶縁の研究を実施してきました。具体的にはがいしの絶縁に関する研究です。そのころ、台風が襲来するたびにがいしの絶縁破壊による停電事故が頻繁に発生していました。がいしは塩害などで汚れると急激に絶縁性能が低下します。そこで、長年にわたる調査に基づいて、蓄積されたデータの統計処理により地域ごとに想定される最大の塩害などの程度を推定し、その程度に応じてがいしの絶縁強度を決める方法がとられていました。塩害などの影響を受けやすい送電線のがいしの場合、がいしの連結数を多くすることによって絶縁強度を増加させることができます。通常の状態であればこの方法により設定されたがいしの個数で問題なく絶縁が保たれるわけですが、台風襲来時には想定外の塩分が付着し、絶縁が保たれなくなり、停電事故へと発展してしまいます。そこで、事故を起こさないための研究を行ってきました。

2005年教授昇進と同時に副工学部長を命じられ、以来組織運営にもかかわってきました。2008年には長崎大学副学長に任じられ、主に大学の施設・環境のマネジメント及び産学官連携に携わってきました。元々産学官連携に関しては2002年より長崎大学産学官コーディネータとして活動しており、それまでの経験が大きく役に立ちました。このように、これまで産学官連携活動を通して産業界とも深くかかわってきました。放送大学に着任後はこの経験を活かし、幅広い視野をもって学習センターの運営に携わっていきたいと思います。

ところで、新型コロナウイルス感染症はいまだ収束には至っておらず、不安な日々が続いています。このコロナ禍にあって、学ぶことの重要性がますます高まっています。行動が制限されることを逆手にとって、行動制限によってできた時間的余裕を学ぶことへ向ければ、時間を持てあますことなくストレスも解消できます。このような時だからこそ、時と場所を選ばず学習できる放送大学の役割は大きいと思います。この放送大学の学習システムの効果を最大限に発揮させるためには、優れたコンテンツを配信することが重要です。このような考えの元、放送大学の発展と長崎学習センターの充実に尽力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



放送大学長崎学習センター所長を、2年5か月で退任いたしました。任期の途中での退任で、学生さんだけでなく多くの方にご迷惑をおかけしてしまい、心からお詫び申し上げます。9月1日からは、長崎大学執行部に理事として勤務しています。長崎大学の立場から、放送大学との新しい連携の形も模索してみたいと考えています。



長崎学習センター所長に就任した初年度は仕事を覚えることで終わり、2年目はコロナ対策で明け暮れ、所長就任時に思い描いていた「広く放送大学を知ってもらいたい」、「学生さんにとってよりやりがいを感じる学習センターにしたい」という夢は実現しないままになりました。2020年度第1学期には新型コロナウイルス感染症流行の第一波により面接授業が全て閉講になるという、全国の学習センターは衝撃の経験を経ることになりました。学生さんの学びを止めてはいけない、第2学期には何とか面接授業が再開できるようにしたいという思いで、かなり早い段階からWEBを活用した面接授業の検討を始めました。ゼミをWEBで実施し、喜んでくれた学生さんの言葉も後押ししてくれました。そうして、1つの新しい学習様式が誕生しました。その過程における学生さんとスタッフの踏ん張り、客員教授と非常勤講師の協力には、敬意を表するとともに心から感謝いたしたいと思います。

学生さんに感謝したいことがもう一点あります。生涯学び続ける心構え、未知への挑戦の姿勢、そして日常的に役立つ知識や知恵など数知れず教えてもらったことです。ゼミは、学生さんの旺盛な向学心を満たすことが目的でしたが、その準備は私自身にとって貴重な学習機会になりましたし、学生さんからの鋭い質問で私自身の学習意欲は刺激されました。学習センター所長としてのさまざまな体験は、素敵な思い出になっていくことと思います。

みなさま、よく御存知の「一期一会」。「一期」とは「一生」、「一会」とは「一度の出会い」という意味で、今ここにいる人とは一生に一度の出会いであり、二度とないので大切にしましょうという意味です。このようなお別れの挨拶にしばしば登場する言葉ですので、在り来りとお思いのことでしょう。ただ、茶道に由来するこの言葉は、千利休の弟子が「山上宗二記」という文献に著した言葉が語源となっており、もう少し深い意味があるようです。茶道が広まったのは戦国時代であり、明日生きているとは限らない時代でした。出陣の前に、いつも一緒にいた人ともう二度と生きて会えないかも知れないので、共に一服のお茶をいただき、心を込めてもてなすという意味もあったそうです。

戦国時代ほどには、現代では、自分の人生の有限性を日常的に深く考えることはないでしょうが、人との関わりは有限です。今も生きる名言「一期一会」を心にして、今ともに時間を共有しているその人の話をしっかり聴く、自分にとって当たり前であることに対して「ありがとう」の気持ちを忘れず、言葉として自分の気持ちを伝えるように心がけたいと思います。

最後になりましたが、みなさまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、放送大学長崎学習センターの益々のご発展を期待しております。2年5か月の間、本当にありがとうございました。

客員教授新任のごあいさつ

2021年8月末で、花田 裕子先生が退任され、9月から、宮原 春美先生が着任されました。

就任のごあいさつ

客員教授 宮原 春美

この度、令和3年9月より放送大学長崎学習センターの客員教授に就任いたしました。平成31年3月に43年間勤務した長崎大学を定年退職し、その後はいくつかの専門学校や大学の非常勤講師や長崎大学 子どもの心の医療・教育センターの非常勤スタッフとして、勤務してきました。



放送大学については長崎大学在職中から非常勤講師をしていましたので、今回全く初めて放送大学にかかわるわけではないのですが、今後は客員教授としての視点でゼミを担当したり、講義を担当したりと皆様と関われることを楽しみにしています。

放送大学で初めて講義を担当したときは、受講者の皆様の年齢層の広さに戸惑ったものでしたが、実際に講義をしてみるとその反応のよさに良い意味で驚くことが沢山ありました。在職時、長崎大学での講義を31年間担当していると、熱心に受講し、質問してくれる学生もいるのですが、中には単位を取れば良いと割り切って講義に参加する学生もいて、それはこちらの工夫のなさもあるのですが、時に悲しい思いをすることもありました。しかし、放送大学では学生さんの受講動機がはっきりしており、現役学生とは違う全然別の反応があり、講義準備もやり甲斐がありました。実は大昔（30年ほど前？）私も一時期放送大学を受講したことがあります、仕事との両立が難しいなど言い訳をしながら1年ほどであきらめてしまいました。放送大学では本当に学びたいと思う方々が受講され、またこれまでの経験を学習に反映されているお姿がとても印象的でした。

これから客員教授として、これまでの私の教員としての経験を活かしながら、皆様と有意義な学びを共有できたらと楽しみにしています。

客員教員による学習相談週間スケジュール

◆2021年10月からの、客員教員の先生の来所日程は下表のとおりです。

日程は変更になることもありますので、学習相談等がある場合は、事前に事務室にご連絡ください。

曜日・時間	担当教員	専門分野
火曜日 13:00～17:00	堀内 伊吹	音楽教育、芸術・文化
水曜日 13:00～17:00	丹羽 量久	教育工学、計算力学
木曜日 13:00～17:00	宮原 春美	臨床看護学
金曜日 13:00～17:00	加来 秀俊	教育心理学
土曜日 9:30～12:30	永田 康浩	医学（消化器外科、地域医療）
日曜日 13:00～17:00	西田 孝洋	薬剤学、医療薬学

ご卒業おめでとうございます

2021年9月、長崎学習センターでは30名の方が教養学部を卒業されました。心からお祝い申し上げます。

生活と福祉コース 13 名
心理と教育コース 6 名
社会と産業コース 3 名

人間と文化コース 3 名
情報コース 1 名
自然と環境コース 4 名

今回の卒業で1名の方が名誉学生の称号を得られました。また、2名の方が長崎学習センター特別表彰を受けられました。
おめでとうございます。



〈参加された卒業生の皆さん〉



〈学位記授与〉



〈所長式辞〉



〈来賓祝辞〉



〈特別表彰〉

今回で長崎学習センターからの卒業生が延1,000人を超えました！！

卒業生代表 原口 俊彦



本日は、私ども卒業生の学位記授与のために、このように晴れやかな式典の場を設けていただき、誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。

また、コロナ禍の中、対面およびオンラインでの学位記授与式の開催にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

「放送大学」この文字が気になりだしたのは、定年が近くなってきた頃でした。高校を卒業して社会人となり、それなりに社会人・家庭人としての人生を全うしてきましたが、会社員生活もそろそろ終わりが見え出したころ、若い頃には全く気にも留めていなかった「大学で学ぶこと、教授から直接講義を受けること、学士の学位を取得すること」へのおぼろな憧憬が心をよぎってきました。多忙な現役時代には考えてもみなかったのですが、定年後に再雇用勤務となり気持ちと時間に余裕ができた時、よし！放送大学に入学して大学生になって勉強しようと、自分で自分の背中を押しました。

そして入学したのが「自然と環境コース」でした。実は今回の卒業は「生活と福祉コース」で2回目であります。子供の頃からずっと心を占めていた「自分とは何だろう、どこから来たのだろう、何のために生きているのだろう」という自問に対し、いろいろと文学や思想・宗教等々の本を読んでも、心の拠り所にはなるのですが所期の疑問についてはどうもピンとこないで、むしろ、自然科学系の方で腑に落ちることが多く、それならば基礎から体系立て学びたいと思い、また、元々、自然系に興味があったこともあり「自然と環境コース」を選択しました。入学時には、「学士」を取得して終わり…のつもりでしたが、学んでいくうちに、「生活と福祉コース」に生物である「ヒト」についての科目があり、そちらの科目も結構履修していました。それならば続けて「生活と福祉コース」を学ぼうと継続入学し、この度の卒業に至った次第です。

さらに続けて「ヒト」の心理についても学びたいと思い、本年度2学期に「心理と教育コース」に継続入学しました。他のコースも「ヒト」の活動に基づく科目が多くあり、「自然と環境コース」を軸にどんどんと学びの関心の枝が広がっていき、最終的には全コースを学びたいと思っております。いつの間にか放送大学の学びの魅力にはまってしまいました・・・。

放送大学での学びは「楽しい」の一言です。知りたいという欲求を満たしてくれる教材・放送授業、そして何より学習センターでの面接授業や研修旅行、そしてそこに集う年齢も社会経験も違う人たちとの出会い、そのワクワク感や試験の緊張感が、放送大学の魅力です。させられる勉強、しなければならない勉強、は辛いですが、自らが「する」学びは楽しいです。

しかし、このような自己の好奇心を満たすだけの私の学び方は、他の在学生・卒業生の方のように「今の仕事に活かす」「次のステップに活かす」「社会活動に役立てる」ところには至っておりません。そのような私が卒業生代表としてこのような場で謝辞を述べて良かったのか、今更になって非常に恥じ入り恐縮するばかりですが、こういう肩肘を張らない学び方があっていいのかなとも思っております。

昨今のコロナ禍の中で普及が一気に進んだオンラインの活用は、遠隔地からも参加できるなど沢山のメリットがあり、とても便利なツールですが、通信制大学だからこそ、対面での面接授業・ゼミや公開講座の魅力は一般の大学と大きく違うところです。両方の良いところを組み合わせたい新しい授業形態の構築をぜひお願いしたいと思います。

最後になりますが、諸先生方、センター職員の方々には大変お世話になり有意義な学生生活を送らせていただき感謝申し上げます。放送大学ならびに長崎学習センターのさらなるご発展と教職員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、卒業生を代表して謝辞とさせていただきます。

～卒業生のメッセージ～



子育てが一段落し、放送大学に入学しました。

途中、仕事も忙しく卒業まで行けるか不安になったこともありましたが、大学卒業の学位を取得したいという強い思いで、5年半頑張りました。

生涯学習という場にふさわしく、リタイヤされた方が楽しく学ばれていたのが印象的でした。

これからも学ぶことを忘れないようにしたいです。

《高田 千晶》

2009年最初の入学の時には、他大学を卒業していましたので、放送大学の卒業までは考えていませんでした。

2018年6月16日、念願だった日本心理士会から認定心理士の認定を受けました。

パソコンサークル活動のために、2019年、編入学をし、心理と教育雄コースを卒業することができました。サークル活動が、私を放送大学に引き留めてくれました。

《溝上 慶子》

学習センターで受けるテストのちょっぴり張り詰めた緊張感が懐かしいです。Zoomになって、事務室の方々にSOSを出してお世話になりました。

これからは同窓会で先輩の方と学びあえるのを楽しみにします。

《M・O》

「人は老いて自らの死を前にしてもそれを受容するためには一定の学びを必要とするはずである。」という文を見た事があります。私は生涯学習として放送大学を選びましたが、新型コロナの時代になっても「Zoomの学び」で学習センターの方々にはお世話になりました。

これからも再入学して前へ歩みたいと思いますので宜しくお願いいたします。

《石丸 栄子》

念願の大学卒業ができます。これまで、30年かかりました。他の通信教育で何度か再入学して頑張ってきましたが、出産・育児・仕事に追われ、卒業に至りませんでした。子どもの手が離れ、自分のやれなかったことをやりたいと、放送大学に入学しました。どうしたらいいのかわからず、もがきながらも、なんだか楽しくなりました。特に、面接授業が充実していて、興味が湧きました。何を聞いても新鮮で楽しく、もっと聞きたいと思いました。今は、コロナで直接先生とお会いできないのが残念ですが、こんな気持ちになれる放送大学って、素晴らしいと思います。

継続入学している方が多いことにびっくりし、まだまだ興味があるので、継続入学することにしました。編入学だったので、最初の1年で53単位ががんばりました。ちょっと大変でした。でも、頑張りました。今度は、じっくり余裕を持って学習していきたいと思います。本当に楽しかったです。今後もよろしくお願いします。

《鍵本 日登美》



病気をしたり、家族の介護等予想外な出来事が沢山有りました。早いうちから計画的に学習に取り組むも、予定通りに進まない時も有りました。

日々に追われる中でも卒業することが出来ました。又、知らない事を学習する機会となり興味深く学習することが出来ました。

《 Y・F 》

今回2回目の卒業です。

自分のペースで、学びの原点「知りたい」欲求を満たしてくれる放送大学はとても楽しいところです。

次は「心理と教育コース」の受講を楽しみにしています。コロナ禍が早く落ち着いて、他県も含む対面授業に参加できる日を心待ちにしています。

《原口 俊彦》

長崎学習センターの教員の方がとても親切でした。2年間お世話になりました。

《有田 誠》

入学した1番の目的は学士の資格が必要だったからです。編入学ができたので1年で卒業する！と目標をたてましたが、コロナ禍の影響で受けられない面接授業もあり、卒業が目標より1年伸びてしまいました。

入学してみると「放送大学エキスパート」や「認定心理士」というのがあることを知り、その認定を受けたいという目標もでき勉強を進めることができました。1年間でエキスパート2つの認定が取れ、認定証が届いた時は嬉しかったです。また、私の周りには放送大学の大学院で学んでいる方もおり、その方と話をするたびに刺激を受け卒業後も再入学の予定です。

面接授業やゼミでは先生方のわかりやすい授業や質問への丁寧な対応に心より感謝しております。入学の目的は学士取得でしたが今は生涯学習として多くのことを学んでいきたいと思っています。

《 K・K 》

ここ一年半ばかりのコロナ禍の状況の中での学生生活を過ごしてきたところですが、貴重な経験もできたように思います。放送授業が主の学びの中ですが、面接授業やサークル活動などで、オンライン、Zoomにふれることができ知識を得たことはとても役立ちました。

《 T・F 》

今回で4回目の卒業です。コロナ禍で自宅での試験となったり、サークル活動も自粛になったりしましたがそれでも学生生活は楽しかったです。

感染防止のためいろいろな制限の中でしたが、Zoomでの講義など、在宅で退屈することなく時間を過ごすことが出来たことはとてもうれしい事でした。

センター長はじめ、職員の皆さんに感謝します。

《香月 やゑ子》



<順不同> 一部原文を割愛・修正させていただいています。

「マスク」で覆われたコミュニケーション

〈 客員教授 永田 康浩 〉

すっかり「マスク」の着用が当たり前の日常になりました。20年前、私が米国留学から3年ぶりに帰国した時、横断歩道を行き交う人々がみなマスク姿なのを見て東京で何か恐ろしいことが起こったのではないかと思わず妻と顔を見合わせたことがありました。その直後にマスク着用で現れた友人から花粉症予防と聞き何となく安心したことを思い出します。それほど、欧米には「マスク」を見かける日常はありませんでした。

今回のコロナパンデミックへの対応の違いでもわかるように、彼らは声を発しながらの大袈裟な挨拶だけでなく、握手やハグなど人と人の触れ合いをコミュニケーションの一つとして大切にする文化があります。今回のコロナ禍においても、「マスク」はこのコミュニケーションを遮るものとして欧米では当初なかなか受け入れられなかったようです。さすがに今では欧米でも「マスク」をする光景を見かけるようになりましたが、果たしていつまで続くのでしょうか。

さて、人類は進化の過程でコミュニティを作ることを選択し同時にコミュニケーション能力を身につけ、やがて他の生物にはみられない長寿を得たと言われています。コミュニケーションとは、言語や文字、その他視覚・聴覚に訴える身振り・表情・声などの手段によって人間が互いに意思・感情・思考を伝達するものです。今回のコロナ禍でメールやオンライン会議、あるいはSNSなどを介した言語や文字伝達のコミュニケーションに慣れていく一方で、直接声を発したり、「マスク」なしの会話や互いに触れ合ったりするコミュニケーションに対して警戒感を抱く社会になっていくことに逆に不安を感じます。コロナ禍が過ぎ去ればもともどるだろう、といった楽観論もありますが、これを期にロボットやAIの活用が加速することは間違いありません。人類の発展に寄与してきた本能的なコミュニケーションを置き去りにして人間はどのような進化の道を辿るのでしょうか。ダーウィンの進化論によると「変化できるものが生き残る」とされています。結果は後世でしか知り得ないとはいえ、私には大いに興味があります。

身を守る五感

〈 客員教授 加来 秀俊 〉

“ながらスマホ”で踏切へ？はねられ死亡、というニュースが報じられていました。帰宅途中の31歳女性が電車にはねられて死亡するという事故でした。女性は警報音が鳴る中「スマホを見ながら」踏切に入り、踏切内に立っていたということです。

最近、“ながらスマホ”の人やイヤホンで音楽に夢中になっている人が危険に遭遇する場面をよく見かけます。視覚や聴覚の情報を得て、危険を察知し回避すべきところが、目も耳も自分の周りの環境刺激からの情報を遮断してしまい不注意となり、自分の安全を守ることがおろそかになっているように思えます。

人間のもつ感覚は一般に五感と呼ばれ、なかでも視覚情報に大きく依存しています。知覚心理学の研究も視知覚が最も進んでいます。心理学的研究が少ない嗅覚は、ほかの感覚とは異なった情報処理の仕組みを持っています。嗅覚系は、外部環境における有害な物質の存在を真っ先に察知するという役割を持っていて、嗅覚は五感の中で唯一、刺激が脳辺縁系へ直接伝わる感覚だからです。無臭・無香料といった香りの変化を嫌う風潮は、人間の安全装置を閉ざすことにつながるのかもしれませんが。鳥取大学の浦上教授は、認知症の予防として、嗅覚からアプローチする方法が効果的であることを示しています。エッセンシャルオイルを用いて、朝は活性化のためにローズマリーとレモンのブレンドオイルの香り、夜は沈静化のラベンダーとオレンジのブレンドオイルをかぐことで、認知症予防につながるとしています。

五感について、日頃あまり意識して深く考えることはありませんが、じっくり考えてみると、五感が自分の身を守る安全装置としての役割を持つことを再認識させられるでしょう。

サークル等のご案内



長崎学習センターでは、学生相互の研鑽、親睦と交流を図ることを目的に、サークルや学生団体、同好会が活動しています。

入会や見学ご希望の方は、事務室までお問い合わせください。

※ 新型コロナウイルス感染症流行に伴い、対面での活動を制限することがあります。
学習センターホームページなどで確認してください。

学友会 … 年4回の研修旅行など

旅行研究サークル（たびけん） … 活動日：第2水曜日 10:30～12:30

パソコンサークル … 活動日：金曜日 10:30～15:30 HP:<https://hnpc.jimdo.com>

心理研究会 … 活動日：毎月第3日曜日 13:00～15:00

英語サークル … 活動日：毎月第2土曜日 13:30～15:30

俳句クラブ … 活動日：毎月第2木曜日 10:15～12:00

健康学習サークル … 活動日：毎月第1水曜日 13:30～15:30

（同好会）多読研究会 … 活動日：毎月第2・4日曜日 13:00～15:00

長崎同窓会 … 機関紙の発行や講演会など

お知らせとお願い

★ 2021年度の学生研修旅行は実施しません。

★ システム WAKABA・キャンパスメール・長崎学習センターHPを確認しましょう。

長崎学習センターから在学生の皆さんにお知らせがある時には、長崎学習センターHPの「お知らせ」、システム WAKABA の「学内連絡」に掲示します。また、個別の連絡等は、キャンパスメールで配信します。

臨時閉所や面接授業の変更などの他、本部からのお知らせもありますので、定期的にログイン、閲覧して、お知らせやメールの確認をお願いします。
ログインできないなどのお問い合わせは、長崎学習センターまで。



TEL : 095-813-1317 FAX : 095-813-1325 E-mail : nagasaki-sc@ouj.ac.jp



事務室からのお知らせ



10月入学生の皆さま、ご入学おめでとうございます

学生生活を送るにあたっての主な留意事項を以下に記載しています。その他わからないことがあれば、「学生生活の栞」「学び始めるあなたへ」「学習センター利用の手引き」をご覧ください。

学生証について

⇒ 学生生活の栞 P.18～(院 P.24～)

10月入学の新入生(再入学・継続入学者含む)の方、有効期限が切れた全科履修生・修士全科生の方は、入学許可書または期限切れの学生証をご持参の上、長崎学習センター事務室までお越しください。

コロナ禍で郵送でも対応しています。お電話でお問い合わせください。

※ 学生証を紛失された場合は、所属学習センターで再発行いたします。(手数料: 500 円)

各種変更・異動願(届)について

⇒ 学生生活の栞 P.20～(院 P.29～)

入学後に住所変更や、学籍等の変更(休学等)があった場合は、速やかに提出してください。

提出期限がある場合があります。ご注意ください。

諸証明書の発行について

⇒ 学生生活の栞 P.103～(院 P.91～)

・各種証明書が必要な場合は「諸証明書交付願」を提出してください。

・手数料は1通につき200円です。・郵送でも申請できます。

※事前に電話でお問い合わせいただければ、スムーズに発行することができます。

学割証の発行について

⇒ 学生生活の栞 P.128～(院 P.115～)

・**全科履修生・修士全科生**が、視聴学習・図書室の利用や面接授業・単位認定試験・卒業研究のために通学する場合等に発行します。(サークル活動等学習外の目的での発行はできません!)利用できる交通機関は、JR・県営バス・長崎バスです。

・ご希望の方は学習センター事務室にて所定の手続きを行ってください。

「通信指導」の提出について

⇒ 学生生活の栞 P.67～(院 P.64～)

・通信指導とは、各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案を提出し添削指導を受けるものです。

未提出・不合格の場合は、単位認定試験を受験することができません。

・提出期間: [Web] 11/9(火)～11/30(火) 17:00

[郵送] 11/16(火)～11/30(火) [本部必着]



学生教育研究災害傷害保険について

⇒ 学生生活の栞 P.130～(院 P.116～)

学生(加入者)が教育研究活動中(面接授業や学校行事など)に被る事故に対する補償を目的としています。ただし、危険度が高い課外活動等は対象となりません。

保険料は6年間で100円です。(＋40円で通学特約を付けられます。)

手続きは学習センターの窓口で行ってください。(新入生には、「保険の案内」を同封しています。)

新入生アンケートのお願い

新入生の皆さんに、「アンケートのお願い」を同封しています。

在学生やこれから入学を考えている皆さんに役立つ情報を的確かつ迅速にお届けできるよう実施するものです。

キャンパスメールでも送信していますので、案内に記載のQRコード、またはURLから回答してください。回答に要する時間は5分程度です。

キャンパススケジュール (11・12・1月)



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

- 3日 閉所日 (文化の日)
- 6日 臨時閉所日 (建物点検による停電のため)
- 16日 通信指導提出開始 (郵送)
- 23日 閉所日 (勤労感謝の日)
- 24日 単位認定試験受験センター変更願提出期限 (郵送)
(システム WAKABA からの変更は 11/30 まで!)
- 26日 2022 年度第 1 学期 出願受付開始!
- 30日 通信指導提出期限【本部必着】(Web は 17:00 まで)

☆11月の面接授業☆

不測の事態発生時は WEB で開講

- 11/13 (土)・20 (土) 水産物の生化学2
- 11/27 (土)・28 (日) 長崎から見た世界と日本
- 11/27 (土)・28 (日) 地熱・温泉エネルギー入門

不測の事態発生時は閉講

- 11/13 (土)・14 (日) 心理学実験 1
- 11/20 (土)・21 (日) 伝統的絵画表現



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 17日 修士論文提出期限
- 27日～31日 閉所日 (年末休日)

☆12月の面接授業☆

WEB で開講する授業

- 12/18 (土)・12/19 (日) 銀河天文学
- 1/ 8 (土)・1/ 9 (日)

不測の事態発生時は WEB で開講

- 12/11 (土)・12/12 (日) 性と生
- 12/11 (土)・12/12 (日) 学校カウンセリング技法
- 12/18 (土)・12/19 (日) 臨床心理学実習
- 12/25 (土)・12/26 (日) 中国の言語と文化

不測の事態発生時は閉講

- 12/ 4 (土)・12/ 5 (日) 実体験型コンピュータ教育
- 12/25 (土)・12/26 (日) 心理学実験 2



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 1日～3日 閉所日 (年始休日)
- 10日 閉所日 (成人の日)
- 11日 臨時閉所日 (振替)
- 14日～21日 2021 年度 2 学期 単位認定試験期間
《1/21 (火) 消印有効》
- 31日 体育実技単位認定申請期限

☆1月の面接授業☆

不測の事態発生時は WEB で開講

- 1/ 8 (土)・1/ 9 (日) 健康長寿の鍵：骨と筋と関節
- 1/ 8 (土)・1/ 9 (日) 未来のエネルギーと原子力発電



・・・閉所日



・・・祝日